



令和4年度を振り返って

学校評価アンケートの集約結果と考察



12月の三者懇談会の際にお願いした学校評価アンケートの結果をまとめましたので報告します。本年度、学校づくりビジョンを改定したため、アンケートの質問項目を大幅に一新しました。その結果、昨年度との比較ができない項目があります。ご了承ください。

(表中の数値は、4段階の回答のうち、肯定的にとらえた回答の占める割合で示しています。)

1. 保護者・生徒に共通する質問に関わって

問	質問事項	生 徒		問	質問事項	保 護 者	
		R3	R4			R3	R4
2	先生は、自分に合った方法で学びをサポートしてくれる。	95	91	1	学校は、お子さんに合った方法で学びをサポートしてくれる。	88	92
3	授業や学校生活のいろいろな場面で、みんなに伝えたり、発表したりすることができるようになってきている。	85	84	2	学校は、調べたり、まとめたり、伝えたりする活動を積極的に取り入れている。	—	93
4	先生は、タブレットやプロジェクター等のICT機器を、授業等に活用している。	99	99	3	お子さんは、家庭学習にタブレット等のICT機器を十分に活用している。	—	84
6	昨年と比較し、4つの力が身に付いたと思う。	—	94	4	学校は、充実したキャリア学習を行っている。	—	89
7	スコラ手帳を使って、自分の行動を計画したりふり返ったりしている。	—	52	5	放課後や休日、お子さんは、おおむね計画的に過ごすことができている。	—	60
8	感染症対策等健康に気をつけ、規則正しい生活を送ろうと努力している。	—	88	6	お子さんは、健康に気を配り、規則正しい生活を送ろうと努力している。	76	81
10	先生は、悩みや困ったことなどの相談にのってくれる。	96	98	7	お子さんは、「先生は、悩みや困ったことなどの相談にのってくれる。」と言っている。	94	84
12	授業や学校活動の中で、地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。	—	86	9	ご家庭では、地域や社会をよくするための活動について話をする機会がある。	—	57
13	小規模校でよかったと思うことが多くある。	—	88	10	お子さんを、小規模校である橋北中に通わせてよかったと思う。	—	91
14	地域行事に積極的に参加している。	48	54	13	保護者は、学校公開や地域行事に積極的に参画しようとしている。	—	90

ほとんどの項目について肯定的な回答が多く安心しました。しかし、50%台に留まる項目もいくつかあります。これについては、達成度が上がるよう、これからも継続して取り組んでいきます。

個別には、「先生は、悩みや困ったことなどの相談にのってくれる。」の保護者回答が84%にとどまり、昨年度より10point下がりました。教員の多忙化が世間の話題となる中、相談しにくい雰囲気を出していたのかもしれませんが、毅然とした態度での指導と親身に寄り添う支援を行うことで、信頼を回復したいと考えます。反面、「学校公開や地域行事に積極的に参加しようとしている。」保護者が90%となったのは、心強い限りです。これからも積極的に学校を公開し地域へも開いていきますので、ぜひ、学校・地域場で生徒・教職員

の応援をお願いします。また、「小規模校でよかった。」に対する肯定回答が、生徒・保護者共に90%近くになったことはうれしい限りです。小規模の良さを生かし、より良い教育の充実に励んでまいります。

2. 生徒への質問に関わって （数値%は、肯定的な回答の割合）

(1)「友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりができる。：97%」



「授業や学校活動の中で、地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある：86%」

学校で習ったことが、自分の将来につながっているという実感は、勉強を続けるうえで非常に重要です。単に知識を暗記するのではなく、それを活用して課題を解決しようとする兆しが見えます。「自律」「協働」「創生」できる生徒が増えてきたようです。

(2)「自分は認められることがあり、自分のことを大切に思っている。：82% → 79%」

昨年度より3ポイント低下しており、年々少しずつ低下しています。2割を超える生徒が自分のことを大切に思えないのは問題です。これは、学校だけで解決することでもありません。地域・保護者と協力しながら、町の子どもの自尊感情を高める連携した取り組みが必要なようです。

(3)「スコラ手帳を使って、自分の行動を計画したり振り返ったりしている。：52%」

今年から取り組んでいるスコラ手帳は、約半数の人しか活用できていないようです。毎日継続して書くことの難しさがありますね。自分の生活を自分でコントロールすることは、「自律」への1歩です。大人になっても、役に立つスキルです。ぜひぜひ、活用していきましょう。

3. 個々のご意見に関わって その1

「先生と子どもの間に信頼関係はできていますか？子どもや保護者との（関係の）構築が大切なのではないでしょうか。」



「生徒への口頭連絡はしていると思いますが、保護者への連絡も欲しい。部活動内でのコミュニケーションがとれていない。」

「生徒の学校に対する思い（要望）が大人の事情で流されて、結局、諦めてしまう様子があります。子どもの行動力やアピール、意欲が何かにつながることが子どもに伝わるといいと思います。《意見の概略》」

信頼関係やコミュニケーションに関するご意見をいただいております。生徒・保護者と職員との信頼関係は、教育効果を考えたとき、もっとも重要なものの一つと考えています。とはいえ、個々により十分な関係が築けていないことがうかがえます。コミュニケーションが密になればなるほど良いとは思いますが、こちらからの発信にも限度があります。お叱りのお言葉は真摯に受け止め、職員に指導をしておりますが、どうぞ、歩み寄りの精神で、遠慮なく日頃から連絡を取り合う関係を築いていきましょう。ご意見・ご質問・ご不満は、早期に対応いたしますので、こちらも遠慮なくお知らせください。「対話」が大切と考えます。

また、学校の様子はHPで毎日紹介しています。ぜひ、そちらもご覧ください。

「学校指定物品（制服・体操服）の価格は適切である」：89%

一定の評価をいただきました。今後も適正な価格の実現に向け、関係業者と協議を続けます。